

平成30年度 特色ある区づくり予算（東区自治協議会提案事業）について

資料4

平成29年9月28日現在

事業名	(1) 発災時の地域防災体制支援事業	(2) 東区めぐり子どもバスツアー	(3) 出かけよう、行ってみよう東区プラザ	(4) 東区がもっと元気になるために みんなで考えよう
事業目的 (期待される効果)	災害時に被災地域がスムーズな支援や応援を受けるには、地域から区災害対策本部へ被災状況を迅速に伝達する必要があるため、地域内における情報伝達方法及び行政側へ伝達する情報の内容等を予め確立しておく。	実際に施設を訪れ、見て学び体験することにより、東区の魅力の再発見と東区に対する愛着を深めることに繋げる。 また、他校の児童との交流により、子どもたちが社会性を育む機会を提供する。	ご近所だけでなく、東区全体としての地域の茶の間のような人が集まり交流できる場を提供する。	いろいろな人と話し合うことで健康への意識を高め、特定健診、受診、結果のアップを図る。
事業内容	発災時、被災した地域内（コミ協や自治会）の情報を迅速に把握する必要があるが、地域におけるその体制作りを支援し、情報を伝達する手段として何が適切なものか検証する。 平成29年度（11月13日・15日実施予定）には4コミ協が無線機を使用した情報伝達方法を試みるが、無線機の使用状況は地域によって異なることから、平成30年度には、訓練未実施のコミ協において情報伝達訓練を行う。 また、平成28年度及び平成29年度に既に訓練を実施したコミ協等が継続して訓練を実施する場合は、それを支援する。	夏休み中の小学生を対象に、東区内の特色ある施設を見学するバスツアーを実施する。 企画の実施にあたっては、平成28年度より実施してきた小学生向けバスツアーの内容、反省を踏まえ、テーマや見学先の設定を行う。 ツアー当日は自治協議会委員及び看護師が引率し、小学生の見学をサポートする。 ツアー終了後は、参加児童へアンケートを行い、今後の自治協議会活動の参考とする。	○東区プラザでできれば月1回開催 ○自治協議会全体や各部会で分担して行う。 ○講座：東区の魅力紹介（工場・農業）、さわやかトーク宅配便、市民大学東区版 ○運動と減塩：健康寿命の延伸、食事を一緒に作り食べる（人数制限あり） ○お茶飲み（参加者の声を聴く） ○送迎：回によって地域を変える（東区マイクロバス、福祉バス）（事前予約必要）	○人を集めて、または地域の茶の間など人が集まっている所に行き、広く意見、アイデアを聞く（座談会） ○「特定健診に行くようになるには？」「運動習慣、塩分を少なくするには？」など問題を提示する。 ○対象は、若者、子育て世代、高齢者
概算事業費		バス借り上げ料10万円、消耗品費5万円 看護師謝礼2万円、食糧費（委員昼食代）2万円 保険料1万円、郵便料1万円		
その他 参考事項				
提案者	第1部会	第2部会	安藤 美幸	安藤 美幸
検討部会での意見				

平成30年度 特色ある区づくり予算（東区自治協議会提案事業）について

事業名	(5) 地域で取り組む健康で長寿	(6) 新潟県立大学生とコラボで東区の魅力を発信	(7) 気軽に集える区役所に (敷地内にコンビニを設置)	(8) 高齢者&こどもの交流活動 サポート学生部隊
事業目的 (期待される効果)	高齢者になっても自分のことは自分でできる体作りのために、少しでも体を動かすことや減塩を意識した食事を取る生活を習慣づけてもらう。	○東区の魅力を区民、県民に知らせることができる。 ○新潟県立大学生の夢・希望を応援することができる。 ○農業に携わっている人に希望を与えることができる。 ○農業特区の推進	○区役所に行けば買い物もできる。 ○いろいろな用事（宅配発送、送金等）が解決でき利便性が向上する。 ○子供も親と一緒に区役所に行き親近感が湧く ○賃貸収入が入り、市の財源に貢献できる。	○地域の茶の間に複数の学生が継続的に出かけ、若者の主体的なアイデアで高齢者の交流活動や健康活動をサポートする。これにより、若者が地域の高齢者の健康（心と体）をサポートする機運を高める。 ○東区のこども食堂やひまわりクラブに複数の学生が継続的に出かけ、学生の主体的なアイデアで小学生等の学習や遊びをサポートする。これにより、東区のこどもたちが、人とかかわり方や人とかかわることのよさを学ぶことができる。
事業内容	○東区の食生活改善推進委員と運動普及推進員が連携して取り組む。 ○前半にストレッチ、軽い運動（総おどり体操など）をし、後半に調理実習（減塩料理）をしてみんなで食事をする。	7月に開催した県立大学生とのワークショップで ①空き店舗を利用したカフェで新しいスイーツを売りたい。 ②大学生が作った野菜を売ること話題になる。 等の提案があった。 越後姫（石山）、ド木戸キ野菜（木戸）、やわ肌ねぎ（下山）、じゅんさい（河渡）、じゃがいも（大形）等、東区で生産する有名な食材を使用し、新スイーツやクッキングレシピを開発し売り出す。	(例1) 西口の駐輪場に停まっている自転車を比較的空いている南口側に集約し、西口駐輪場をリフォームして設置する。 (例2) 南口エントランスホール内の一部をリフォームして設置する。 ○コンビニには住民票発券機、ATM を設置。 ○東区生産の野菜・食品を販売し、東区をPR	大学生等、若者が中心となって、地域へ出かけ、高齢者の交流活動・健康活動、子どもの学習・遊びをサポートする。
概算事業費		材料費、発表セミナー代等（約30万円）	約20万円	○交流のためのグッズ購入・作成費 10万円 ○サポート学生部隊のワッペン・名札・グッズ 3万円 ○地域へ出張のための交通費（一人1回につき2千円程度） ※二人1チーム（4千円）で50回分 20万円
その他 参考事項		新潟市食生活改善推進委員協議会東支部の応援もお願いしたい。		・事業終了後、「高齢者&こどもの交流活動サポート学生部隊」事業に参画した方が集い、区役所（または県立大学）で成果発表会を行う。取組の成果と課題を確認し、次年度の事業に備える。
提案者	佐藤 恵子	井上 貞男	井上 貞男	山田 修平
検討部会での意見				

平成30年度 特色ある区づくり予算（東区自治協議会提案事業）について

<p>事業名</p>	<p>(9) 東区のよさを学ぶ 「東区まち歩きマップづくり」と体験ツアー</p>
<p>事業目的 (期待される効果)</p>	<p>○「東区まち歩きマップ」を作成し、これを市民や児童に配布することを通して、東区の地理的特徴や歴史、文化についての理解を深める契機とする。</p> <p>○「東区まち歩きマップ」を生かした「親子でまち歩き」や「東区まち歩きツアー」の実施を通して、児童や市民が東区の特徴やよさを主体的に学ぶ楽しさを味わう。</p> <p>○「東区まち歩きマップ」作成に興味をもつ市民や大学生が参画することを通して、本事業を実施する意義と成果を高める。</p>
<p>事業内容</p>	<p>東区の地理的な特徴や歴史、特色ある施設を学べる「東区まち歩きマップづくり」を進める。そのマップを生かした東区の歴史や特色を学ぶ市民体験ツアーを企画する。</p> <p>「東区まち歩きマップ」は、体験ツアー等の知見を生かし、毎年更新する。マップは東区の小学生にも配布し、親子で東区のよさに目を向ける契機とする。このマップは、区役所、新潟駅や新潟空港、高速道路サービスエリア等に置き、東区への観光客誘致にも生かす。</p> <p>◎コースA：牡丹山・木戸の旧街道を歩き、神社や寺から新潟の歴史を学ぶ</p> <p>◎コースB：河渡・松崎等かつての砂丘地を歩き、「淳足柵」を想う</p> <p>◎コースC：津島屋・貯木場・山の下を巡り、かつての旧阿賀野川筋跡地と今の通船川との関係を考える(バス移動が基本)</p> <p>※各コース共に定員40名程度。解説は地元の郷土史家に依頼。参加費は、昼食代・バス代を含み、参加者が負担する。</p>
<p>概算事業費</p>	<p>○マップづくりに必要な現地探索活動費</p> <p>○交通費：マップづくりに参加する市民や学生、郷土史家等</p> <p>○マップ作成印刷費</p> <p>○体験ツアーに関わる必要経費（借り上げバス代を含む）</p> <p>○交通費：成果発表会参加</p>
<p>その他 参考事項</p>	<p>「東区まち歩きマップづくり」や「まち歩き体験ツアー」に参画した学生や市民が成果発表会に参加し、本事業の成果と課題を確認する。次年度の事業計画に見通しをもつ。</p>
<p>提案者</p>	<p>山田 修平</p>
<p>検討部会での意見</p>	